

パパ・ママ子育て知恵袋

第28回は「^{そそう}粗相は叱らない」

粗相とは

1. 不注意・そそっかしさから、あやまちをおかすこと。そのあやまち。
 2. 大小便をもらすこと。
- とあります。

子供の粗相は叱らないということです。

つまり「わざとではない失敗」「本人もショックを受けている失敗」は叱らないという意味です。

保健の先生に教わりました。

（なるほど）と子育て失敗連続父は、今になって納得できます。

今になって納得できるというのは、ずいぶんと粗相した我が子を叱ってしまったなあという反省があるからです。

叱ったというより、自分の機嫌が悪くて、気持ちがトゲトゲしているときに、粗相をされて怒ったというのが正しいでしょう。

子供も「しまった！」と思っているところに、雷を落とす。

子供は「もう二度と同じ失敗はしません」と謝る。

でも、したくてした失敗じゃないから、同じようなことを繰り返す。

雷は2倍になる。

子供は、びくびくした、他人の顔色をうかがうような性格になる。

ですから、粗相は叱らない。せめて「大目に見る」というのが正解でしょう。

小学生のとき、おねしょをした布団をそのまま押し入れに隠して、叱られたことがあります。おねしょが悪いんじゃない、しちゃったら仕方ない、隠したことが駄目なんだと母に叱られて、大いに反省したことを覚えています。